



子供とともにつくる学校

校長 小林 理人

満開だった桜の花びらがひらひらと舞い子供たちの進級・入学を祝福します。子供たちはピンク色の絨毯の上を元気に登校しました。72年目となる一年が今日から始まります。

ご入学、ご進級おめでとうございます。今年度の新入生は91名です。1年生から3年生までが3学級となり全校児童も458名となりました。本年度も裏面にある教育目標を踏まえ、学校づくりの主役である子供たちとともに、夢を育てる学校づくりを進めていきます。

教育目標は子供たちが学校生活を通して身に付ける力を「知育・徳育・体育」の目標として示したものです。この3つは子供たちが未来を切り拓くために必要な力であり、学校教育の拠り所である学習指導要領をもとに設定しました。

そして、紙面の下に紹介した言葉は、3月に本校を巣立った卒業生が在校生に託した目標です。本校では、3つの教育目標を卒業生がつくった言葉で在校生に伝えています。子供たちは卒業生に託されたこの言葉を意識して学習や生活をする中で、教育目標に掲げた未来を切り拓く力を身に付けていきます。

また、子供たちが教育目標に掲げた力を身に付けていくためには、子供たちのやる気を引き出したり、子供たちの良さや成長を認め励ましたりする指導が大切です。そこで、私たちは以下に示したことを心がけて指導を行っています。

「何のため」を心にとめた指導

本校の校長室や職員室には「何のため」という言葉を掲示しています。それは子供の指導にあたる私たちが「この指導の価値は何か」「この指導は何故必要なのか」などを考え、指導の目的を明確して指導にあたるのが大切だからです。

そして、それは私たちの指導だけではなく子供の学習や生活にも当てはまります。子供たちも「この活動がしたい」「この活動はする価値がある」など活動の必要性を感じたり、「できるようになりたい」「上手になりたい」など目標をもって学習や生活ができるようにしたりします。

「みんな」が安心して気持ちよく過ごせる環境

いろいろな個性や特性がある子供が学習や生活を共にし、力を身に付けるためには、全ての子供たちが安心して気持ちよく過ごせる環境づくりが必要です。本校ではみんなが気持ちよく過ごすための生活の仕方の指導や、安心できる居場所づくりを大切にしています。

生活の仕方の指導では、全ての子供たちが気持ちよく過ごす方法やその大切さ、心地よさが理解できるよう「一声指導」や「ふわふわ言葉」を取り入れた指導を行っています。また、様々な支援員によるサポートやはばたき教室、プラタナスを活用した指導・支援など個性や特性に応じた指導・支援も積極的に進めています。

「4つのない」を意識した生活

今年度もコロナ禍での学校生活が予想されます。これまで定着させてきた「うつらない・うつさない・むりをしない・きずつけない」の4つのないを意識した生活を基盤とし、感染状況や子供たちの実態を踏まえた方法や内容を柔軟に考え、学校ならではの学びの継続に努めます。

子供たちや学校を温かく見守り、支えてくださっている保護者、地域の皆様には心から感謝いたします。今年度も引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後まで根気よくやりとげる (つよく) 個性を尊重し友達を認め合おう (あたたかく)

失敗は成長のもと 自分の意見をしっかりと (かしこく)

令和4年度 教育目標

私たちは、一人一人の子供たちのよさや可能性を生かし、他者と協働しながら豊かな人生を切り拓く資質・能力を育てるために以下の教育目標を掲げ、「知」「徳」「体」の調和のとれた教育を目指します。

体	つよく	健康でたくましい子	目標に向けてやりぬく子	令和4年度 重点目標
徳	あたたかく	仲間と共に成長する子	全ての命を大切にする子	
知	かしこく	意欲的に学ぶ子	よく考え表現する子	

本校では、未来を拓き、未来に生きるために必要な力を身に付ける教育活動の充実を目指し、重点とする目標を決め、指導の焦点化を図っています。

昨年度から3年間の計画で「つよく」を重点目標とし、目標に向けてやりぬく子を育てる指導に取り組んでいます。昨年度も、コロナ禍により接触を伴う活動が思うようにできませんでした。しかし、様々な制限がある中で活動や内容を工夫し、めあて・目標を意識した学習や活動ができました。

今年度も昨年度に引き続き重点目標を「つよく」とし、指導の焦点化を図ります。

私たちが目指す学校

つづく つながる 夢を育てる学び舎

- 全ての子供のよさ・可能性を伸ばし、自己肯定感を育てる学校（夢を育てる学校）
 - 持続可能な社会の実現をめざし、人や活動、よさや伝統がつながる学校（つづく・つながる学校）
 - 学校づくりに主体的にかかわる力と豊かな人間性を育む学校（子供が主役の学校）
- ※4つのないを意識した生活（うつらない うつさない きずつけない むりをしない）

国立二小では、生きる目標や、未来を切り拓くエネルギーとなる「夢」を育てることを大切にしています。そのために、地域とともに守り育てた豊かな環境やよき伝統を教育活動に生かし、一人一人の「夢」につながる「よさ」「可能性」を伸ばすことや、「自己肯定感」を育てることを積極的に行います。

また、地域の方や保護者の皆様との人のつながり、活動のつながりを活かした持続可能な学校として国立二小の豊かな環境やよき伝統を未来につなげていきます。

そして、子供たちが学校づくりに主体的にかかわる「子供が主役の学校」として、未来を切り拓く力と豊かな人間性を育みます。

